

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

| 事業の概要 | | | |
|--------|-----|---------------|---------------------|
| 事業開始年度 | | 昭和17年～ | |
| 総合計画 | 大項目 | 基本目標 | 01 安全で快適に暮らせるまちづくり |
| | 中項目 | 基本施策 | 04 安全で安心して暮らせるまちづくり |
| | 小項目 | 施策 | 03 安全・安心な環境の高揚 |
| 事務事業名 | | 02 | 防犯施設整備事業 |
| | | 根拠法令・例規等 | |
| | | 問担当課(室) | 市民課 |
| | | 合職・氏名 | 生活安全係長 初治 慎一 |
| | | 電 話 | 0869-64-1876 |
| | | このシート作成に要した時間 | 3.0 時間 |

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

| 事業の目的 | |
|---------------------------|--|
| 対 象 (誰・何に対して) | 国道2号線及び250号線のスポンサー付の水銀灯及び日生地内の防犯灯 |
| 目 的 (何のために) | 犯罪の発生を抑制するために設置した防犯灯などの維持管理をする。 |
| 事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか) | 日生地内の防犯灯は、市と町内会の維持管理している防犯灯の位置を明確し、今後の管理を検討する。 |

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

| 事業の実績 | | |
|------------------|---------|---|
| 細事業名 | 事業の説明 | 優先度 |
| 目的を達成するために実施した事業 | 防犯灯管理事業 | 昭和56年頃に設置した国道2号線のスポンサー付の水銀灯は、老朽しており国土交通省と協議し、順次撤去する。国道250号のスポンサー付の水銀灯及び吉永地区の水銀灯の球切れ交換をする。日生地内の防犯灯は、市と町内会が管理の防犯灯について、今後の管理を検討する。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価


| 事業費等 | 単位 | 平成20年度実績 | 平成21年度実績 | 平成22年度実績 |
|-----------------|----|--------------|-----------|-----------|
| 直 接 事 業 費 | | 2,385 | 2,128 | 1,672 |
| 必 要 人 員 人 件 費 | 千円 | 0.12人 | 1,112 | 0.15人 |
| 費 事 業 費 計 | | 3,497 | 3,620 | 2,028 |
| 国 県 支 出 金 | | | | |
| 受 益 者 負 担 金 | | | | |
| 財 源 | 千円 | | | |
| 市 債 | | | | |
| そ の 他 () | | | | |
| 一 般 財 源 | | 3,497 | 3,620 | 3,700 |
| 受 益 者 負 担 比 率 | % | - | - | - |
| 結果指標名 | 単位 | 平成20年度実績 | 平成21年度実績 | 平成22年度実績 |
| 電気料金支払灯数 | 説明 | 日生地区の防犯灯の電気代 | | |
| 結 果 指 標 量 | 灯 | 125 | 125 | 122 |
| 対 前 年 比 | % | - | 100.0% | 97.6% |
| 活 動 コ ス ト | 円 | 2,611,657 | 2,266,740 | 2,688,290 |
| 単 位 当 た り コ ス ト | | 20,893 | 18,134 | 22,035 |

| 事業の成果 | | | | | |
|--------------------|----------|---------|---------|---------|-----------|
| 成果指標名 | 年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度目標値 |
| 電気料金支払灯数 | 目標値(A) | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | 実績値(B) | 125 | 125 | 122 | 到達目標値 |
| | 達成率(B/A) | 125.00% | 125.00% | 122.00% | 100 |
| 成果指標設定の考え方・式や説明 | | | | | |
| 市が電気料金を支払っている防犯灯の数 | | | | | |

| 事務事業の評価 | | 5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い |
|---------|----------------|--|
| 妥当性の評価 | 市の関与の妥当性 | <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い |
| | 市民ニーズ | <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている |
| 効率性の評価 | コスト | <input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している |
| 有効性の評価 | 目的達成度 市民参画度 | <input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している |

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら有効性を評価

| 進行年度(H23年度)の改革改善内容 | | | | | | |
|--------------------|--|------|-----|----|------|-------|
| 状況 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止・完了 |
| 説明 | 市管理の防犯灯の内、現地調査により管理不明な防犯灯を無くすよう、中国電力と協議する。 | | | | | |

| 総合評価 | | 5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い |
|--|---|---|
| 防犯施設の整備は、安全安心の観点から、犯罪発生を未然に防ぐために重要であるが、市と地域の役割分担を構築し、地域の自主管理の推進による効率化を図る必要がある。 | 評価区分 <A~E> | C |
| |  | |

| 平成24年度の方向性・取組目標 | | | | | | |
|-----------------|--|------|-----|----|------|-------|
| 方向性 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止・完了 |
| 取組目標 | 引き続き、市が管理している防犯灯数について、現地調査及び中国電力と協議して、管理灯数の削減に努める。 | | | | | |